

2019年12月期（第120期）

第3四半期決算 <補足資料(Q&A)>



新日本電工株式会社

2019年11月 8日

問合せ先 総務部長 上 直
電 話 03-6860-6800

<http://www.nippondenko.co.jp>

2019年12月期第3四半期決算 経営成績

Q: 営業損失となった理由は？

A: 合金鉄事業

製品販売数量は前年同期と比べ増加したものの、国際製品市況が想定に反して回復せず弱含みで推移したことで売上高が前年同期と比べ減少した一方で、使用原材料価格は高止まりし続けたことにより、営業利益が前年同期と比べ大きく悪化したことによります。

機能材料事業

フェロボロン(アモルファス向け)の販売が前年同期と比べ大幅に減少したことによります。

2019年12月期第3四半期決算 経営成績

Q: 合金鉄事業の赤字要因は製品市況と鉱石市況のどちらの影響によるものなのか？

A: 第3四半期決算における合金鉄事業の低迷につきましては、両方(製品市況安・鉱石市況高)の要因が大きく影響しています。
ただし、合金鉄事業の業績は、製品市況と鉱石市況とのスプレッドに影響を受けますので、一概にどちらの影響が強いと言い切ることはできません。

2019年12月期通期業績

Q: 通期業績見込みを修正した理由は？

A: 合金鉄事業

- ・国際製品市況の当社の想定に反する低迷の継続。
- ・需要低迷による販売数量の減少。
- ・マンガン鉱石市況の下落に伴う棚卸資産の評価損発生。

機能材料事業

- ・米中貿易摩擦の影響等による、需要減少の懸念。

その他

- ・持分法における投資損失の増加。
パータマフェロアロイズ社(マレーシア)

2019年12月期通期業績

Q: 合金鉄事業セグメント以外は順調なのか？

A: 機能材セグメント

第2四半期までは概ね計画通り堅調に推移しましたが、第3四半期・第4四半期におきましては、米中貿易摩擦の影響等により、電子部品関係の材料の需要が全体的に低迷すると見込んでいます。

環境セグメント

概ね計画通り推移しています。

電力セグメント

概ね計画通り推移しています。

2019年12月期通期業績

Q: 足元のマンガン鉱石市況の下落は通期業績にどのように影響するか？

A: 価格の高い鉱石在庫が相当量あるため、価格の低い鉱石を購入しても製造原価に反映されるまでにはある程度の期間が必要となります。
以上により、通期業績に大きな影響はないと考えています。

次期に向けて

Q: 収益改善への施策は？

A: 収益改善に向け、資産圧縮・安定生産・徹底したコストダウン、生産・設備トラブルの防止に向けた効率的設備投資に努めるとともに、合金鉄販売価格の見直しに向けた需要家への理解促進に最大限取り組んでいます。

株 価

Q: 株価対策は行わないのか？

A: 自社株買いなどの対策は常時検討をしていますが、現時点で決定している事実はありません。また、自己株式の取得は重要な収益の還元策の一つとして、十分認識をしています。

一方で、自己株式の取得は、自己資本を減少させ手持ち資金の流出を伴うという、企業の安定面からはマイナスとなる側面もありますので、今後の事業展開・投資計画・内部留保の水準・業績動向等を総合的に考慮し、引き続き検討をまいります。